

# 病院におけるヘルスプロモーション活動に関する調査

## 調査の概要

【目的】地域医療の質向上を図る一環として、病院におけるヘルスプロモーション活動の推進方策を検討する基礎資料を得ること

【対象】地域医療振興協会が運営する25病院(以下、25病院)

【方法】①FormsによるWeb調査（2022年4月）②内容をより詳細に把握するためのインタビュー調査（同年8月）

【調査内容】①活動内容（患者、地域、職員の3対象別選択肢）②拡充に対する意欲、重要性、自信(10段階自己評価)③拡充の促進要因・阻害要因（自由記載）④実施内容の詳細（電話・メールでのインタビュー）

【集計解析】①回答を病床数、機能、職員数別に量的に分析②自由記載およびインタビュー結果を質的に分析

【回答率】100%（25病院全施設の協力を得た）**皆様のご協力に感謝申し上げます！**

※本調査では、ヘルスプロモーション活動を「病気や障がいの有無に関わらず、すべての人が自分らしく充実した生活を送れるように、さまざまな方法を組み合わせて自らの健康をコントロールし、改善できるようにする取組」と広く定義しました。

## 結果① 全施設において様々な活動を既に実施し、拡充にも意欲的

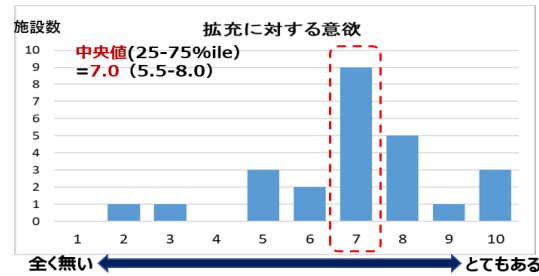
全施設、患者、地域、職員いずれかを対象とした活動を既に実施し、主な内容は下記の通りでした。

**患者対象：**健康教育、医療福祉相談、患者会運営など

**地域対象：**講演会、予防教室、通信等の情報発信など

**職員対象：**託児所の設置、予防接種補助、食支援など

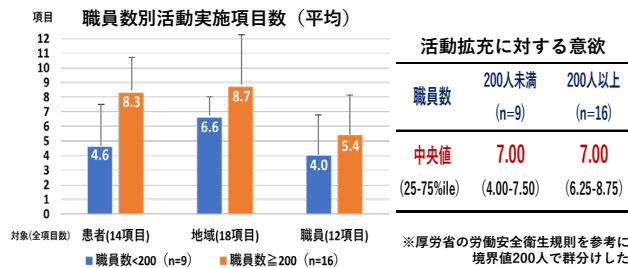
活動拡充に対しても意欲的で、成功事例を共有してほしい、スタッフに活動の重要性を広める研修会を開いてほしいなどの意見もありました。



## 結果② 職員数の少ない病院も、活動数は少ないが意欲は同じ！

回答を病床数、機能、職員数別に見た結果、職員数の少ない病院では全体的に活動項目数が少なく、特に患者対象の活動が少ない傾向でした。

しかし拡充の意欲に差はなく、職員数や病院の規模、機能にかかわらず、3つの対象それぞれに対して、病院の特性やニーズに合った、オリジナリティーの高い活動がされていました。



## 結果③ 促進要因は、体制づくり＆人材育成・人的支援

◆**促進要因** 「体制づくり」は、委員会など院内の体制と、協会内や関連自治体に相談窓口があることなど院外の体制、両方が挙げられました。人材も院内で活動を推進する人材を育成すること、院外からその人員を派遣してもらうこと、両方の記載がありました。その他、活動に収益性があることなども挙げられました。

◆**阻害要因** 人手不足（時間がない、余裕がないを含む）とコロナによる制限に続き、魅力ある企画ができない、集客できないなどのノウハウ不足のほか、活動のノウハウをどう評価するか、という課題も挙げられました。

いずれも自由記載・複数回答（上位3カテゴリーを抜粋）		
順位	促進要因（18施設が記載）	記載数
1	体制づくり（委員会、相談窓口の設置など）	9
2	人材育成・人的支援（担当者の配置など）	8
3	経済的支援（補助金、助成金など）	7

順位	阻害要因（21施設が記載）	記載数
1	人手不足と業務負担の増加	11
2	コロナ禍による活動制限	5
3	ノウハウの不足（企画・集客など）	4

**本結果をふまえ、公衆衛生委員会でも活動を支援する方策を検討してまいります**

# 病院におけるヘルスプロモーション活動に関する調査 結果報告

2022年4月にJADECOM25病院を対象に行った調査の結果、全施設において様々な「ヘルスプロモーション活動」を既に実施し、**活動の拡充にも意欲的**であることがわかりました。本リーフレットでは、調査結果の概要と25病院の活動事例の一部を紹介いたします。今後の取組を考える一助となれば幸いです。

## 調査趣旨

医療機関は、診療という手段を通じて人々の健康づくりに寄与しています。しかしそれ以外の場面でも、患者さん、職員、あるいは地域のなかで「ヘルスプロモーション活動」と言える事例が多く行われています。本調査は医療機関の皆様へ、そのような活動を拾い出し、まずは関心を持っていただくという趣旨で実施しました。

回答に際しては、テーマである「ヘルスプロモーション活動」という言葉をどのように考え、どんな活動を事例として提供しているのか戸惑われたかもしれません。しかしながら、各施設で適切に検討され、まさに「ヘルスプロモーション活動」である良い事例がたくさん集まりました。「ヘルスプロモーション活動」とは医療従事者はもとより、患者さんや地域住民、職員及びその家族を含め、それぞれの立場の人たちが、健康に影響する様々な生活習慣、環境について考え、より良くするための様々なサポートやプロセスを包含するものです。日々の治療や業務の中で多く行われていることと思います。

本調査が、医療機関の皆様へ、そのような様々な日常の取組を「ヘルスプロモーション活動」としてとらえ、地域医療の質の向上にもつなげていただけるよう、活動のさらなる拡充を期待したいと思っています。

公衆衛生委員会 委員長 宇田英典

## 第14回JADECOM学術大会で報告しました！

（公衆衛生委員会セッション 2022年10月15日(土) 16:00~17:45 砂防会館）

本調査の結果報告と、7施設9事例の発表、および意見交換を実施しました。成功の秘訣を問う質問や苦労話が発見に交われ、参加者それぞれが、次の取組を考えるヒントを得る機会となりました。

現地参加、オンライン参加、合わせて30余名の方々にご参加いただきました。

**ご発表、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました！**





**あま市民病院**

- 地域でのフレイル予防
- 職員への健康増進の取組
- 市の職員や協会のサロン代表者向けに勉強会を開催
- 職員向けスポーツイベントの開催や、手作りランチ・スイーツを提供！



# キラリと光る 地域医療振興協会 25病院の活動


2022年4月に地域医療振興協会 公衆衛生委員会が実施した「病院におけるヘルスプロモーション活動に  
関する調査」の中で各施設より挙げられた活動の一部を、  
ここに一挙ご紹介いたします！

● = 患者さん対象の活動 ● = 地域対象の活動 ● = 職員対象の活動  
■ = 第14回JADECOM学術大会公衆衛生委員会セッションで  
ご発表いただいた病院

**三重県立志摩病院**

- 住民、医療職等を対象とした研修会の開催

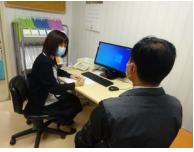
当院のスタッフが講師となり、住民の健康増進と医療・介護・福祉職の資質向上を目的とした多職種研修会を、地域連携センター主催で毎月開催しています。学びと共に交流も深まります。



**石岡第一病院**

- 生活困窮者等への相談活動


児童から高齢者まで、医療保険未加入または経済的な問題を含む療養上、生活上の様々な悩みやご相談に応じ、各種制度や社会資源のご紹介、他機関との連携調整などを通して問題解決のお手伝いをしています。



**上野原市立病院**

- 健康的な職員食を毎日3食提供

患者さんと同じ健康食を、お手頃価格で3食提供しています。特に**朝食は170円**！忙しく不規則な生活になりがちな医療職にとって、3度の食事は働く活力の源になります。

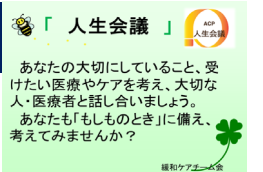


**公立丹南病院**

- ACPの実践

「人生会議」ACP  
あなたの大切にしていること、受けた医療やケアを考え、大切な人・医療者と話し合いませんか？

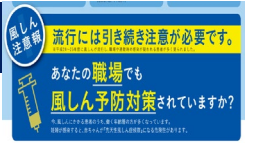
2018年に丹南病院独自のACP用紙を作成し、全職員がACPを実施しています。本部のACP相談チーム養成研修にも参加し、チームを作って活動しています。鯖江市と協力し、普及活動も行っています。



**村立東海病院**

- 麻疹と風疹の抗体価測定とフィードバック


職員健診時に麻疹・風疹の抗体価を測定しフィードバックしています。それにより、これらの患者さんが来院した際にかかわることのできるスタッフを選別することもできます。



**十勝いけだ地域医療センター**

- 地域住民・商店街・自治体と協同での夏祭りの開催


開かれた病院作りの一環として開始！管理者による講演会や院内では認知症診断、骨密度測定等が、院外では子供向け看護師体験、消防士体験があり、予防の意識づけもできていると感じる。



**湯沢町保健医療センター**

- 休日の院内託児、病児・病後児保育の取り組み


若い看護師が出産後できるだけ早くに復職し、継続して勤務できるよう、職員向けの院内託児所を設置しています。日曜日でも出勤することができるよう、日曜保育も行っています！



**飯塚市立病院**

- 糖尿病教室の開催


病院の医師・糖尿病指導療法士が中心となり、平日はほぼ毎日、教室を開催しています。現在はコロナの為、入院患者様限定ですが、通常は一般の方を含むどなたでも自由に無料で参加できます。



**越前町国民健康保険織田病院**

- 児童デイサービスセンター「すてっぷ」の運営


地域の障がい児、発達・学習面で支援が必要なお子さんに対しリハビリと療育を実施しています。リハビリ職、看護師、保育士、元教諭など多種の職員を配置しきめ細かいサービスの提供を心掛けています。



**市立恵那病院**

- 院内&地域での呼吸器教室の開催

患者さんを対象とした院内教室の他、地域でも保健所と連携して行っていました。リハビリを兼ねた運動や座談会も行っていましたので、コロナ後また再開したいと思います。



**台東区立台東病院**


- STOP！錠剤粉砕薬剤師の取組
- 防煙教室の開催
- 嚥下状況の確認等多職種連携の一手間で大きな医療安全と患者満足を！
- 欧米の喫煙防止プログラムの知見を取り入れ、友人の誘いを断るライフスキルを身に付ける内容にしています。



**西吾妻福祉病院**

- 初動負荷トレーニングマシンの活用


地域住民と職員の健康の維持増進を目的に、院内に4台の初動負荷トレーニングマシンを設置・開放し、運動を促しています。腰痛予防やリラックス効果もあります。



**横須賀市立うまち病院**

- 「心臓リハビリテーション教室」の開催


当院の「心臓リハビリテーション教室」では、ハイキングやゴルフなどの運動を取り入れた「心臓リハビリテーション」を定期開催しています。運動によって健康で幸せな生活を送り、同じ病を持つ周りの方を支援できる識見、即ちリハビリテーションです。



**伊豆今井浜病院**

- あたたかい職員食の提供


職員食も患者様と同じように、適温の食事を提供しています。朝食・昼食・夕食いつでも適温！あたたかい食事＆冷たいデザートでホッとできるひと時を♡



**公立久米島病院**

- 島の文化・風習を取り入れた看護の提供


久米島病院の看護師の多くは、県外出身者のため、入職時に島の自然・歴史・風習や行政についての研修を行い、患者さんとのコミュニケーションを円滑にして、看護の質の向上を目指しています。



**市立大村市民病院**

- 出前講座の開催

自治会や地域で活動しているサークルからの講演依頼が多く、様々な年代に対応できるように13の講座を作成し、開催しています。現在、新型コロナで休止していますが、また再開したいと考えております。

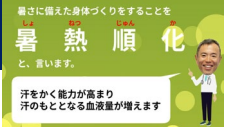


**東京北医療センター**

- デジタルサイネージを活用した健康教育

暑熱順化  
暑さに備えた身体づくりをすることを、言います。  
汗をかき能力が高まり汗のもとになる血液量が増えます


病院の紹介や健康情報を届けるオリジナル動画を作成し、院内での待ち時間に見ていただけるよう、サイネージを用いて発信しています。顔が見える病院作りにも役立っています。



**日光市民病院**

- 職員のメンタルヘルスケア


全職員にいきいきと仕事をさせていただけるよう、入職後1、3、6か月目、その後もこまめに担当者を変えて面談を行っています。産業医とも連携し、短時間の面談を重ねることで、職員の想いを汲み上げやすい環境づくりを心がけています。



**横須賀市立市民病院**

- ボランティアコンサートの開催


地域のゴスペル、フルート、大正琴、フラダンス等のサークルを迎えて開催しています。患者さんとその家族、地域の方々院内でくつろぎ、交流できる場になっています。現在コロナで休止していますが、また再開したいと考えています。



**伊東市民病院**

- 職員への保健指導と無料採血・スポーツ施設との連携

職員の健康診断の結果をまとめ、院内全体に周知健康に対する行動変容を促したり、特定保健指導対象者に対して無料で採血・評価しています。スポーツジムの紹介もしています。



**公立黒川病院**

- 多職種連携で行う認知症カフェ・サポーター養成の取組

黒川病院では、大和町の住民、行政、医療、福祉が連携して認知症カフェ・サポーター養成講座を行っています。カフェでは、住民が毎回美味しいコーヒーを淹れてくれます。



**市立奈良病院**


- 入退院支援課の設置

入退院支援課では、患者さんが安心・納得し再び住み慣れた地域で生活できるように、地域関係者との連携を推進し切れ目のない支援を行っています。



**東京ベイ・浦安市川医療センター**

- オンライン母親学級
- 東京ベイWeb通信
- 妊婦さんの安全を担保し、安定した出産前教育が行え、メリット大！
- HP上での情報発信は、患者さんだけでなく、職員にとっても病院の魅力発見、業務理解につながります！



**練馬光が丘病院**

- フレイル予防と、リハビリテーションの充実

フレイルの危険の高い入院患者さんに対して積極的にリハビリテーションを行っています。退院時には、ケアマネジャーとの打ち合わせや、必要性があればご自宅の家屋状況の把握に向かっています。

